

～全 183 店舗の会計レジの募金箱約 6,000 個で実施～

「途上国の女の子の教育支援募金」を贈呈

株式会社イトーヨーカ堂（代表取締役社長：亀井 淳、以下「当社」）は、2016年9月1日（木）から3ヶ月間※、国連に公認・登録された国際 NGO プラン・インターナショナルと協力し、途上国の女の子の教育支援の活動資金としての募金を実施いたしました。

※9月5日（月）～9月19日（月）は「平成28年台風10号等災害義援金募金」のため未実施。

この店頭募金活動に対し、お客様、従業員から寄せられた募金は**4,308,598円**となり、12月13日（火）に、募金の全額を公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン佐藤活朗事務局長にお届けいたしました。今回の募金は「プラン特別プロジェクト：パキスタンにおける女子小学校建設プロジェクト」に活用されます。



【プラン・インターナショナル・ジャパン
佐藤活朗事務局長へ目録を贈呈】



【パキスタンの女の子。ウメールコト県の公立の女子
小学校 383 校⇒141 校が閉鎖状態】

当社では、2016年3月1日（火）より、国内のGMS（総合スーパー）として初めて、全国のイトーヨーカドー、セブン美のガーデン、ザ・プライス、全店の会計レジ約6,000台に募金箱を毎年設置し、年間を通じてお客様、従業員へ募金を呼びかける活動を行っております（セルフレジ等、一部設置不可のレジを除く）。この募金は3か月単位で様々な社会的課題の解決への一助になるテーマを決めて実施してまいります。



【レジで募金を受付】

なお、この会計レジ約6,000台の募金は、12月1日（木）から3ヶ月間、東日本大震災の災害復興募金を実施しています。発生から5年が経過しましたが、日本政府も2016年度から2020年度を「復興・創生期間」と位置付けており、当社が震災後に継続的に実施している東北復興支援「東北かけはしプロジェクト」の一環として募金を実施いたします。

当社は、社会的課題の多様化に対応し、限られた分野に偏らず、様々な分野の課題解決に取り組んでまいります。今後もお客様・従業員と共に事業活動を通じた社会的課題を解決する活動を行ってまいります。

以上